

特集 1

これからの女性局

歴代女性局長が思いを語る

2月4日、歴代の女性局長が集まり、座談会を開催しました。

今回は元婦人局長（女性局の前身）である山東昭子参議院議長をゲストとして招き、

女性活躍社会、女性の健康、これからの女性局などについて、意見交換を行いました。

政治の世界、社会全体で 女性が自分らしく輝くために

— 女性局が今取り組んでいる課題について、教えてください。

三原 児童虐待防止や子育て政策、働き方改革など、さまざまな課題に取り組んでいます。中でも女性活躍推進、特に女性の政治参画については今後も力を入れていきたいと考えています。

列国議会同盟（IPU）が昨年3月に発表したデータによると、国会で女性議員が占める割合は日本（衆議院）が10・2パーセント。調査の対象となった193カ国のうち165位で、

先進7カ国の中では最下位でした。

山東 日本の女性の国会議員は、私が政治家になった時は、25名しかいませんでした。それに比べると、人数はかなり増えてきましたが、海外に比べると確かに少ないですね。

高階 日本で女性の国会議員が少ない原因の一つは、間違いない選挙ですね。一度当選しても、2期目、3期目を勝ち抜くのが非常に難しく、キャリアをなかなか伸ばすことができませんから。

さんとうあきこ
山東昭子
参議院議長

みはらこ
三原じゅん子
女性局長

女性局の政策パンフレット 「やさしさはちから」



お お た ふ さ え
太田房江
参議院議員

た か が い え み こ
高階恵美子
参議院議員

長く経験を積むことができれば、議員としての力が付き、それぞれの主張を明確に打ち出すこともできます。今2期目の私自身、より一層政策を磨かなければならないと実感しています。

太田 先日、細田博之衆議院議員が「政策にしっかりと関わっている議員を育てるには10年かかる」とおっしゃっていました。一人前の政治家になるには、それだけ時間がかかるということですね。

高階 当選しただけでは、本当の意味で国会議員になったとはいえません。政策を実現するには、周

りの協力や信頼が不可欠。そういう環境を作る意味でも10年という時間が必要なのでしょうね。

太田 議員を育てると同時に、新たな人材も発掘していかないとけません。

山東 国づくりの第一歩は、人づくりです。

三原 高階先生が女性局長の時に始まった女性のための政治塾「プレミアム・ウィメンズクラブ」(現・女性未来塾)が太田先生に受け継がれ、今少しずつ、新たな人材育成の場として機能し始めています。

太田 うれしいことに、女性未来塾の受講生の中から地方議員が誕生したんですね。

三原 はい。毎月100人ほどが受講していますが、その中から昨年の統一地方選挙で4人の議員が誕生しました。

高階 この女性のための政治塾は、平成29(2017)年2月にスタートしました。その後3年かけて太田先生、三原先生に育てていただき、感謝しています。今や女性局の財産ですが、議員を育てるのに10年かかるとする



歴代女性局長が、 こうして集まるなんて初めて… 助言をいただいて、 もっと輝く女性局にしていきたい！

と、あと7年ですね(笑)。頑張
りましょう。

太田 私が女性局長の時、神奈
川県在住の受講生が「大阪に知
り合いがいっぱいいるから、太
田先生を推薦しておきます」と
言ってくれて、チラシなどを配
ってくださったことがあったん
ですよ。

高階すごい行動力ですね。目
的を達成するために、力を合わ
せて頑張るムードを作っていくこ
とが大切ですね。

女性局では女性活躍を推進し

ていますが、実は「活躍」とい
う言葉が少し重いと感じているの
です。

太田 確かにそうですね。「専
業主婦になりたい」女性もいる
でしょうから。

高階 必ずしも外に出て働かな
くてもいい。自分らしく、人それ
ぞれに輝くことが大事なことで
と思います。

山東 そのためには、女性が夢
や希望を抱ける社会でなければ
いけませんね。

高階 私もそう思います。最近

は超高齢社会で人口が減少する
ことによるネガティブなことばか
りが話題になっていますが、夢や
希望がなかったら人は頑張ること
ができません。

一人一人が自分らしく活動し、
地域の中で生き生きと健康に過
ごせたら、活力がみなぎる社会
になるのでは。そういうポジティ
ブなイメージで、女性局が目指
す方向を示すことが大切ではな
いでしょうか。そうすれば、男
性も女性もより積極的に女性活
躍推進に関われると思います。

三原 女性にかかる家事や子育
ての負担をどうにかできないも
のでしょうか。

太田 本当にそうですね。私も
母の介護をしていて、実感してい

ます。

高階 負担に感じている女性は、
体の不調が多いという研究報告
もあります。

でも、実際に役割を分担しよ
うと思っても、夫が忙しいと夫婦
間では調整ができず、結局女性
が我慢して体を壊すまで頑張る
ことに…。

太田 女性は弱音を吐かない人
が多いですね。

三原 壊れる前に、対策を立て
ないといけませんね。

高階 多くの人が困っている、共
通の悩みなのに、家庭の外から
支援する仕組みがまだ不十分。

三原 構造的に支援する仕組み
のある社会を目指すべきですね。
女性のためにも！

女性の活躍には健康が不可欠 健康支援の法案成立に向けて

—現在、三原先生は4度目の女性局長を務めていらつしゃいます。

付いてきたと思います。党内での存在感が増しましたよね。

高階 三原先生が引き続き、重要なポジションである女性局長になられて本当に良かったです。私は2年務めました、もっとじっくり取り組みたかったという思いがあるので…。

三原 本当？ うれしいです（笑）。

太田 そうですね。私も選挙が迫っていたので任期は1年でした。

太田 女性局は、以前は女性だけの組織でした。女性局の前身である婦人局の局長を山東先生が務めていらつしゃった時に「女性政策の推進には男性の協力が不可欠」ということで、初めて男性が役員になられたそうです。

高階 女性局は今や、相当力が

付いてきたと思います。党内での存在感が増しましたよね。

それ以来、男性がほとんど女性局の役員になっています。

山東 現代は、男性の理解が大きく変わり、男女を問わず本当に能力のある人に付いていく人が増えましたね。企業などでも、成長していくためには女性に活躍してもらわなければならぬ時代になっていると思います。

三原 私をサポートしてくれる女性局長代理は、現在、堀内詔子先生と、青山繁晴先生の二人です。男性である青山先生は女性への理解が深く、本当に助かっています。

よく誤解されるのですが、女性局は、女性国会議員のための組織ではありません。各地域で自民党を支援してくださる女性

たちのための組織です。例えば、手弁当で選挙を応援してくださる方々に、女性局は政策で恩返しする必要があります。

女性局として、どんなことができるか、常に考えながら活動しています。

—これまでに女性局が主導して成立させた法律は。

三原 リベンジポルノ防止法（私事性的画像記録の提供等による被害の防止に関する法律）です。

女性局では、今、高階先生が力を入れて取り組んでいらつしゃる「女性の健康の包括的支援に関する法律案」の成立に向けて、一丸となって活動しています。

高階 今年は五輪・パラリンピックが開催されます。健康活力社



政治には難しい課題が多いですが、女性ならではの感性や感覚で「本当に必要なことは何か」をしつかりと見極めていたいただきたい



政治塾をスタートさせたきっかけは
プレミアムフライデーでした。
月末の金曜を実のある時間に
してもらいたかったのです…

は、産前・産後を通じて、きめ

りました。

細やかな心身のケアが必要です。
また、女性特有の病気については、
社会全体で理解を深めていかな
ければなりませんね。

事で沖縄に行ったことがありま
す。その時、夜中までおしゃべり
をしました。後から分かったこと
ですが、あの時すでに宮川先生

は、昨年9月に亡くなった宮川
典子^{のりこ}女性局長筆頭代理も必死に
訴えていました。女性の健康の
悩みや不安を一人で抱え込まない

で、と書かれたステッカーを「全
国に広めていこう」と話したのが、
彼女と交わした最後の言葉にな
ったのかと心から敬服します。

で、と書かれたステッカーを「全
国に広めていこう」と話したのが、
彼女と交わした最後の言葉にな
ったのかと心から敬服します。

高階 女性の健康について、本
当に精力的に活動していました

会をけん引するような、女性の
ための法整備には、絶好のタイ
ミングではないかと思っています。
女性の活躍は、健康でいられてこ
そ。ぜひ女性局の皆さんにお力
添えをいただきたいです。

女性^{三原}は社会の担い手として役
割が大きいですし、子供を産む
こともできます。女性の健康が、
社会の元気につながるといっても
過言ではありません。

太田 自治体によって差があり
ますが、私が住んでいる大阪府
豊中市は、乳がんや子宮頸がん^{けいがん}
の検査費用がかかります。以前
に比べると、大分安くなりました

女性^{三原}たちがそれぞれのライフス
テージでどのように健康を守りな
がら、各ポジションで力を発揮し
ていくのか。これはとても重要な
ことです。

たが、まだ社会が本気で女性の
健康について考えているとはいえ
ないと感じています。

性^{山東}は、産後うつに悩むことが少
なくありません。出産に関して





ね。宮川先生の頑張りが認められないまま最期となってしまう、きつと心残りだったと思います。天国で見守る宮川先生のため

にも、「女性の健康の包括的支援に関する法律案」は、必ず成立させます。一緒に頑張りましょう。

さまざまな課題に立ち向かう 今後目指すべき女性局とは

—これからの女性局について、お考えは。

三原 日頃の活動をもっと発信していくべきだと考えています。
太田 近頃、選択的夫婦別姓やLGBTなどの性的少数者につ

いて、野党の発言が目立っています。人によってさまざまな意見がある、これらの問題について、自民党では勉強会を開いて理解を深めています。こういった取り組みをしていることを、

女性局長としてブロック会議に参加することができて良かった。地方の人たちの熱い思いを聞くことができたから…

女性局の憲法パンフレット 「幸せのカタチ」





女性未来塾 特別講座 女性候補者育成コース 第1期 募集要項



自由民主党 女性局長
参議院議員 三原じゅん子

「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」が成立し、女性議員の活躍が求められる中、自民党女性局は、即戦力となる女性議員候補者を育成するため、女性未来塾に特別講座を設置することにしました。議員になる上での悩みをわかちあいながら、お互いに支え合う場にしたいと思います。

志のあるみなさんと切磋琢磨しながら議員になるためのノウハウを共有し、ともに令和の時代を切り拓いていきましょう。

未来を決めるのは、あなたです。

女性未来塾 特別講座 女性候補者育成コース第1期 募集要項

●主催	自由民主党組織運動本部女性局
●協力	自由民主党選挙対策本部、中央政治大学院
●講座内容	選挙運動の方法、政治活動全般についての講演や実習
●受講期間	第1期：令和2年6月～令和3年3月
●受講会場	自由民主党本部 他
●受講費	無 料
●応募資格	自民党の国会・地方議員を目指していること 自民党員であること 女性未来塾の受講生であること 現住所の女性局に所属し、女性局活動に参加すること
●選考方法	以下の提出書類による選考 (1) 履歴書(党HPよりダウンロード・写真添付・自筆) ※履歴書PDFファイル (2) 論文(テーマ：実現したい政策／800字以内・書式不問) ※(1)および(2)の書類を下記住所にご送付ください(持込不可)
●応募締切	第1期：令和2年4月20日(月) 必着
●合格発表	合格者のみに、書面で通知(5月中旬を予定)
●書類送付・ お問合わせ先	〒100-8910 東京都千代田区永田町1-11-23 Tel.03-3581-6211 自由民主党 女性未来塾 事務局



書類ダウンロード

※女性未来塾での政策の勉強に加え、本講座を受講することで
わが党の公認、推薦候補者となることを保証するものではありません。

てより詳しく分かるので、ぜひお読みください。

高階 情報の発信という意味では、ホームページでさまざまな政策を発信できないでしょうか。

各政党の女性政策について調べたことがありますが、自民党はホームページに女性政策を打ち出していません。例えば女性未来塾のキャッチコピーに、「ここから統一地方選挙に挑戦する人を育てます」など、目指すゴールを打ち出せば、インパクトが出ませんか。他にも、「選挙での女性の立候補者を何パーセントにします」「女性新人議員がしっかり仕事できるように、こんなサポートをします」など、具体的な女性政策の中身を示したページがあると、国民は女性局をもっと身近に感じられるのでは。

もっと発信してもいいと思います。
三原 そうですね。女性局の勉強会では、一つの課題にはつきりと白黒をつけるのではなく、さまざまな意見を幅広く聞くことができます。こうした議論ができるのは、右派も左派もいる自民党ならではです。

性局が制作しました。
太田 「幸せのカタチ 私たちの憲法」ですね。憲法を身近に感じられるタイトルもいいです。国内外の憲法トピックスが面白いし、自民党が優先的に改正を目指す4項目もコンパクトにまとまっています。

三原 ありがとうございます。お褒めいただき、うれしいです(笑)。実はこの小冊子の説明本も作りしました。憲法改正について

三原 そうですね。情報の発信の仕方や、その中身を、もっと研究する必要があります。今、



党のホームページのリニューアルを進めているので、高階先生のご意見を参考にさせていただきます。

高階 地方に出掛けると『りぶる』にこんな記事が載っていた」と声を掛けてくださる方がとても多いんです。例えば、自民党の支援者の声を募集して、女性局と地方の女性たちと双方向でやりとりするような仕組みはどうでしょうか。

三原 そういう意味では、女性局はフェイスブックに加えて、昨年10月からツイッターも始めました。フォロワー数という形でどれだけの人が読んでくれるのか分かりますし、女性局のことも発信できます。青年局も

始めたので「負けないぞー」と思いながら頑張っています。

太田 地方の女性の声を吸い上げるシステムは大事ですね。

高階 今の女性局役員は男女比のバランスが良く、さまざまな経歴をお持ちの方が集まっています。それぞれの先生たちの良いところを生かしながら、きちんと政策を出していけるように、私も微力ながらできる限りのことをしてまいります。

太田 女性局のために、これからも頑張ります。

三原 よろしくお願いします。最後に、山東参議院議長からコメントをいただけますか。

山東 今、世界に目を向けてみますと、国によっては女性政治家が非常に働きやすくなっています。

わが国でも、女性議員が男性議員とうまく協力し合い、党派の違いを超え、目標を同じくしながら国益のために結束していただければうれしいです。こうした協調する姿勢が、女性活躍を推進する上でキーワードになるのではないかと考えます。

